

議 事 録

会議名	第5回笛吹の里運営推進会議	開催場所	2階多目的室
開催日	令和4年12月21日(水)	開催時間	13:30～14:30

§出席者(敬称略)

役職	氏名	役職	氏名
利用者代表	小山 敏夫	地域包括支援センター職員	平野 令子
家族代表	薄波 謙一	施設委員(施設長)	関原 礼敏
藪野町内会長	保坂 克己	施設委員(部長)	吉田 芳治
池町内会長	古川 勝夫	事務局(小規模管理者)	中村 啓一郎 欠席
民生委員	渡部 孝	事務局(特養相談員)	柳本 幹子
民生委員	桑原 幸子 欠席	事務局(小規模計画作成)	竹田 慎一

1. 挨拶(施設長より)

管理者の中村は家族の体調不良で欠席。民生委員の桑原様は所用により欠席。
今回、新しい委員の方が加わったため、改めて皆様より自己紹介いただく。

2. 議事

◆令和4年度第4回議事録の承認 ⇒ 承認される

◆利用状況・事故ヒヤリ発生状況・苦情について(別紙参照)

特養の【利用者から職員が受ける暴言暴力の報告件数】が10月、11月に入り急激に増加しているが、とりわけ何かが起こったわけではなく、しっかりと記録に上げるよう周知したことにより増加している。

ケアホームでは11月に入院の方が3名おり、稼働率が若干落ちているが、12月に入り、2名の方は退院、1名の方はこちらの特養へ入所となっている。

重大事故について(柳本相談員より説明)

『平野委員』重大事故後の対応についてどうされたのか?

⇒『施設委員』本来内服する予定であった眠前薬については内服せずに様子を見た
が、体調の変化等は見られていない。

◆行事・活動等の報告

①食欲の秋

さんま祭り、ラーメンバイキング、富寿司出前など

②ハロウィン

③運動会、菊まつり見学

『小山委員』さんま祭りに参加したかった。来年度以降は1回ではなく、より多くの利用者が参加できるように開催回数を増やしてもらいたい。

『施設委員』さんまを仕入れるのは大変だが、さんま祭りの開催回数については前向きに増やす方向で検討していきたい。菊作りについて、委員の皆様でされている方がいれば教えてもらいたい。

⇒『古川委員』菊作りは子育てみたいで大変だと思います。

⇒『薄波委員』寒菊を鉢に入れて玄関に置いている。菊作りは大変で、3年毎に土を入れ替えている。

⇒『施設委員』菊作りを行う際は、薄波委員、古川委員にご助力をお願いしたい。

◆事業所の運営に係る報告事項

①新型コロナ関連

【施設の状況】

複数の職員が同居家族から感染したが、施設内では感染拡大せず。

【ワクチン接種】

入居者・職員の2価ワクチンの接種は12月1日・21日に実施。

【面会】

感染拡大を受け、新潟県福祉保健部より施設内での面会を中止するよう通知があり、11月下旬より面会を中止した。

『施設委員』既にピークアウトしており、先週新潟県福祉保健部より面会緩和の通知があった。時期は未定だができるだけ普通の生活は戻していけるようにリスク管理を行いながら検討していきたい。他の事業所における面会制限について教えてもらいたい。

⇒『平野委員』短期入所サービス事業所からは新型コロナウイルス陽性反応が出た場合は、連絡が来るが先週頃より減少傾向となっている。

②地域貢献プロジェクト

未使用のタオルを寄付してもらい、雑巾を作り小学校へ寄付。

近隣小学校だけでなく、作った方の出身小学校への寄付も検討。

※コロナ禍で地域と一緒に活動は難しいため、施設内でできる地域の役に立てる活動はないでしょうか？

『施設委員』地域の中で困っていることや要望などがあれば会議を通して検討してみたいので、ご意見を伺いたい。

⇒『保坂委員』コロナ禍では難しいと思いますが、フレイルについての講座を町内と連携してできれば良いと思う。住んでいる住民も様々な知識を高められればと思っている。

- ⇒『古川委員』以前、空き家問題や川の近くの畑について町内で意見があった。
実際、休耕田が多くなっている状況もある。仮に川の近くの畑作業を行う場合は堤防を下りるなど職員の方は大変だと思う。
- ⇒『施設委員』畑に手を加えないと、雑草だらけになり大変だと思う。
- ⇒『渡部委員』三郷地区の運動会でケアホームで作った案山子を見たが、細かいところまで作ってあり驚きました。今後も案山子作りのような取り組みをしてみてもどうか。
- ⇒『薄波委員』なかなか難しい問題だと思う。施設に入所したら、後は施設にお任せというのではなく、家族として散歩に一緒に出掛けるなどサポートができればと思っている。また、それが今後の施設のあるべき姿だと思っている。
- ⇒『施設委員』職員が利用者の方に関わる時間は1日大体2時間程度。入浴介助に30分、排泄介助に5～10分など、日々のケアで職員は精一杯な現状がある。面会だけでなく、家族の方が生活の隙間を埋めてもらえたらありがたい。
- 『小山委員』施設の南側の畑の土自体、花や野菜を育てるには適していない。今年、中庭の畑に自身の畑の土を持ってきて耕してもらった経緯がある。もしよければまた、土を持ってきたいと思っている。
- ⇒『薄波委員』地域の方から籾殻を寄付いただき、耕運機で耕してみてもどうか。
- ⇒『古川委員』まずは土を良くしないといけない。籾殻を入れて耕すのは効果的だと思う。
- 『施設委員』籾殻について、どこで手に入るでしょうか？
- ⇒『薄波委員』秋になったら、戸野目にあるライスセンターに行ってみてもどうか。
- ⇒『小山委員』籾殻は秋に確保しなければならない。藁を燃やした灰も土には良いと思う。
- ⇒『薄波委員』三郷小学校にある桜の葉っぱを取っておいてもらい、腐葉土を作ってみてもどうか。

③小規模多機能型居宅介護サービス評価について

当初の予定通り、先月職員自己評価を実施し、今月に事業所評価を実施予定。

1月末に各委員へ配布予定のため、次回の会議にて実施予定。

④内部研修報告

10月：高齢者体験

11月：感染症研修

◆委員の皆様からの情報やご意見

『施設委員』子供が出ていってしまい、サポートする方がいない独居の方など、民生委員の方々が関わる機会が多いと思う。地域の中で困っていた方がいたのに、何もできなかったとなるのが一番切ないため、地域の中で困っている方がおられれば気軽に相談していただきたい。

3. 今後の予定

12月：忘年会、内部研修【虐待防止・権利擁護】

1月：新年会、内部研修【認知症研修】

※次回日程について 令和5年2月15日（水）13：30～